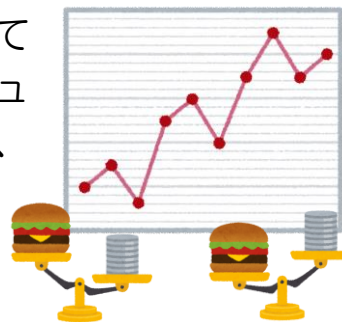


今は「インフレ?」「デフレ?」

先週、原材料価格や物流費高騰を理由として、コカ・コーラのペットボトルの出荷価格を値上するとの報道がありました。荒工の自動販売機の人気飲料水は甘くて、シュワシュワ系ですので、値上げ報道は皆さんにとっても他人事ではありませんね。当然、お小遣いやバイト料の賃上げを期待してしまいますね。

物価の値上げは飲料水に限らず、社会全体で起きています。長引くコロナ禍により、海外との人と物の交流が制限され、多くの商品・サービスが不足しつつあります。エネルギーに加えて、様々な部品を輸入に頼っている日本にとっては、この状況は軽視することはできません。しかし、私たちの生活はコロナ禍前と同じように、それ以上に豊かさを求めているように感じます。

売り手側を「供給」、買い手側を「需要」といい、売り手は「なるべく高く売りたい」、買い手は「なるべく安く買いたい」という欲求を持っています。供給量が需要量を上回ると、商品・サービスがあまり、供給側は売るための手段として値段を下げるので、お金の価値が上がります。逆に、需要量が供給量を上回ると、ものが不足し、需要側は値段が高くて買うので、お金の価値は下がります。100円の価値のジュースが90円で買えるようになる状況を「デフレ」といい、お金の価値が上がります。逆に110円で買える状況を「インフレ」といい、お金の価値が下がります。



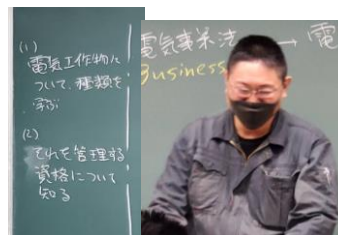
皆さんは「インフレ」「デフレ」どちらが良いと思いますか。「消費者」と「生産者」の立場でそれぞれ考えてみてください。売れる商品を安定的に生産しなければならない「ものづくり」は、「消費者」が求めていることは何かを考えなければなりませんね。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】ジュール熱の計算値と実測値との差を体験的に説明する西館先生。ものづくりに携わる技術者は、例えその差が僅かであっても、その理由（原因）を明らかにしなければならないと感じました。真空二重構造（サーモタイプ）の容器の保冷保温効果が高い理由は、真空では熱を伝える気体分子がほとんどないため、熱移動による放熱を防ぐとのこと、この仕組みを活用しているのが、皆さんが寒さ対策で着ているダウンジャケットらしいです。動かない空気は温かいのですね。軽くて温かいって、当たり前の気もしてきますね。



【定時】授業で皆さんに身に付けてほしい知識や技術を明示し、目標を達成するための手順（授業の進め方）を丁寧に説明する中込先生。学びの道標を明示することは大切です。法律上の電子工作の種類と、それを管理することができる資格を説明。自分たちが取得を目指している資格で何ができるようになるのか、やれることと、やりたいことを意識できる授業でした。



工業高校の学びに自信をもって！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」